



radio Camnetに続くマガジン版 雲心月性

大槻ワールドへようこそ

Camnet マガジンをお楽しみの皆様。マガジン版「雲心月性」です。いかがお過ごしですか？ 2019 年は年号も変わりますし、昨年のような天災など無いことを祈念しています。

さて、大槻は川崎医科大学の中にある学内の学会である川崎医学会の運営委員長を務めています。教員や教授の先生にエリアに入るところには、メールボックスがあって、そこにデジタルサイネージが設けてあります。いろんな情報を掲示するのですが、医学会として発刊している機関誌への投稿を促すスライドを月の前半 2 枚、後半 2 枚で流しています。友人の Ms. Keiko C の描いたイラストを使わせてもらったり、自分で撮った写真を使ったりしています。

では、2018 年の 1 月と 2 月のスライドを紹介합니다。

まずは、新年のご挨拶〜富士山の写真は新幹線からの撮影です。



冬は暖かい毛糸のケーブルなどで身を包んでお出かけしましょう。



以前、北陸本線で冬に富山に向いた時に、車窓は雪野原でした。



川崎医科大学のある倉敷では降雪があることは少ないのですが、皆様の街はいかがですか？



2 月に入るとバレンタインの準備ですね！ KMS は、Kawasaki Medical School : 川崎医科大学の頭文字です。



そして女子たちは(男子も?) お手製のチョコ作りを始めるのでしょうか？



二月に入ると蛸梅が花を咲かせます。仄かな黄色でも、来る春を感じることが出来ますね。



でも未だ未だ寒い地方もあります。冬木立を暖かい恰好で木槌を弾きながら〜どこへかけましょうか？



さて、オリジナル曲の冬の歌。iTunes リリース・アルバム「Scenes in Seasons」より「三度目の冬」です。

そして 3 度目の冬
街を斜めに 風が区切って
裸の 街路樹は いつもと 同じ様に
少し 震える 足元に 口笛で唄う

それは 想い出の中
振り向く肩に しがみついてた
化石の 幻は 光に 溶けていった
今は 優しい 冬の陽に 輝く蒼空

若さを 信じるよりも
心を いたわり合えば
日々の重さと 時の速さを
いつか 抱きしめて 愛を 誓えるさ
あなたへの愛を

そして 3 度目の冬
白いコートの 影を引きずる
あの日の すれ違い いつまた 繰り返さず
そっと 名前を 囁やけば 高鳴るこの胸

それは 朝まだ早い
霧の彼方に 昇る太陽
彩る 横顔は 季節を いくつ巡り
今は 清しい 微笑みに 確かめる愛よ

若さを 信じるよりも
心を いたわり合えば
日々の重さと 時の速さを
いつか 抱きしめて 愛を 誓えるさ
あなたへの愛を

--*-*-*-*-*-*-*-*-*-*

皆様にとって 2019 年がステキな一年になりますように！

プロフィール 大槻 剛巳 (おおつき たけみ)

川崎医科大学衛生学教授
0歳: 京都府福知山市にて生誕
14歳: 京都府中学校陸上競技大会にて100mハードル2位
14歳: KBS近畿放送AMラジオでリスナーの詩として採用
15歳: 倉敷市に転居
15&18歳: NHKあなたのメロディー出演
18歳: YAMAHAポプコン全国大会(譜面の部) 出場
20歳: YAMAHA神戸との連携で楽曲依頼あり
24歳: 川崎医科大学卒業
以降: 川崎医科大学血液内科〜衛生学にて診療・研究・教育に従事
1992-1996年: 米国留学(医学研究)
1996年: 岡山県文学選奨現代詩部門選外秀作として「岡山の文学」に掲載
2009年: Camnet CH-F(10-19)パーソナリティ担当
現在に至る

♪オリジナルCD
プレゼントします！
詳しくは
プレゼントコーナーで